

INFORMATION



公益信託 時実利彦記念賞

平成19年度申請者の募集について

当基金は、下記要項により19年度申請者の募集を致します。

記

1. 趣 旨

脳研究に従事している優れた研究者を助成し、これを通じて医科学の振興発展と日本国民の健康の増進に寄与することを目的とする。

2. 研究テーマ

脳神経系の統合機能及びこれに関連した生体の統合機能の解明に意義ある研究とする。

3. 研究助成金

「時実利彦記念賞」として賞状及び副賞（研究費）100万円を授与する。

4. 応募資格

原則として55歳以下とする。

5. 応募方法

所定の申請書に必要事項を記入し、主要論文のうち代表的なもの3篇以内の別刷一部を添付の上、下記事務局宛送付する。

・申込締切日 平成18年12月8日（金）必着

・申請用紙は、下記事務局宛請求する。

<公益信託 時実利彦記念脳研究助成基金事務局>

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5

三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部

公益信託グループ 担当 宮下

Tel：03-3212-1211 内3374

Fax：03-6214-6253



第1回トランスポーター研究会

日時：2006年12月16日12時—17日12時

会場：共立薬科大学芝校舎マルチメディア講堂

第1回世話人：安西尚彦（杏林大・医・薬理）

共催：共立薬科大学

主題：トランスポーターの重要性と若手の交流プログラム：

☆講演1「トランスポーター研究の過去、現在、未来」

東京大・院・薬・分子薬物動態 杉山雄一

☆講演2「特定領域研究トランスポートソーム」

杏林大・医・薬理 金井好克

☆シンポジウム

SLCトランスポーター 7題

ABCトランスポーター 4題

トランスポーター最近の話題 5題

☆ポスター発表（ミキサー、優秀賞選考有）

演題応募締切：2006年11月14日（火）

あらゆる種類のトランスポーター研究に関するポスター発表演題を募集します。詳細は下記HPをご覧ください。

参加費：学生（院生含む）3,000円、一般5,000円（ミキサー代を含む。当日受付は各500円増）

若手有志により運営される会ですが、参加制限はありません。多くの方々のご参加をお待ち致しております。

参加申込：11月14日までに郵便振替により以下

の口座宛でお振込下さい。氏名、住所、所属、電話番号、e-mailアドレスを必ず明記して下さい。(振替手数料はお手数ですが各自ご負担ください。)

郵便振替 口座番号 00140-7-667745
口座名称 トランスポーター研究会

問い合わせ先：

〒105-8512 東京都港区芝公園1-5-30

共立薬科大学薬剤学講座 内

第1回トランスポーター研究会事務局長 崔 吉道

TEL&FAX：03-5400-2553

<http://www.transpot.umin.jp/>



日産科学振興財団 2006年(平成18年)度 「学術研究助成」の募集を開始

日産科学振興財団(理事長：カルロス・ゴーン)は「環境」・「自動車」・「教育」の3分野の重点化に加え、研究助成対象を一層フォーカスした下記研究助成を募集致します。

■学術研究助成 募集要項概要

(1) 助成対象

(環境研究)：

大気中のCO₂削減を目指した太陽エネルギーの有効利用に関する基礎研究で、特に①人工光合成 ②有機太陽電池 ③樹木の光合成促進 に関する研究を重点課題とする。

(認知科学研究)：

人と機械のインターフェース革新を目指した認知科学研究で、特に①自動車運転者の知覚・認知・判断メカニズム ②幼児・子供の健全なコミュニケーション能力発達支援 に関する基礎研究を重点課題とする。

(2) 助成要件：

- ・ポストドク・助手クラスの研究者が自ら計画した研究課題を自律的に推進する個人研究
- ・原則として申請研究課題については、科研費等公的研究助成および他民間財団からの

研究助成を受領または予定がないこと

(3) 申請者の資格：

日本の大学など我が国の非営利の学術研究機関に所属(勤務)するポストドク、助手クラスの主として若手の研究者

(4) 助成金額：1件あたり150万円程度

(5) 採択予定：環境研究10件程度、認知科学研究10件程度

(6) 助成期間：平成19年4月より1年間

但し今回採択された助成者の中から、将来有望な発展が期待できる若干数の研究に限り、再応募・審査により、助成期間の延長と追加助成金の支給を行う予定

(7) 応募期間：9月1日(金)～10月31日(火)

Web申請、郵送分とも必着

(8) 応募方法：本年度からWebによる申請方法に変わりました

詳細は財団ホームページをご覧ください

日産科学振興財団URL：

<http://www.nissan-zaidan.or.jp>

日産科学振興財団

〒104-0061 東京都中央区銀座6-16-9

TEL：03-3543-5597 FAX：03-3543-5598

お問い合わせ先 nsf@nissan-zaidan.or.jp



独立行政法人 科学技術振興機構

プレベンチャー事業 平成15年度採択課題研究開発成果報告会

大学・公的研究機関発ベンチャー創出推進事業として平成11年度より実施している「プレベンチャー事業」の平成15年度採択9課題が本年9月末に終了し、その研究成果を報告する。この事業は大学や公的研究機関の研究成果（特許等）をもとにベンチャービジネスにつながる研究開発課題を募集し、課題提案者を中心とする研究開発チームを作って、起業化に向けた研究開発、地上調査を行っている。事業の特徴としては、大学・国立研究機関の研究成果の発明者である研究開発責任者と、ビジネス面でのパートナーである起業化責任者との共同実施としている点にある。研究開発終了後は、その成果をもって研究開発参加者がベンチャー企業設立とつなげてゆく。これまでの成果として43社の大学発ベンチャーが誕生している。

※本プレベンチャー事業は、旧新規事業志向型研究開発成果展開事業（平成11年度～13年度）、旧研究成果最適移転事業成果育成プログラムC（平成14年度～15年度）を承継している。

主催：独立行政法人 科学技術振興機構（産学連携事業本部技術展開部新規事業創出課）

http://www.jst.go.jp/tt/pro_c/index.html

開催日時：平成18年11月10日（金）10：00～17：00

参加対象：大学、TLO、公的研究機関、ベンチャー関係者、一般希望者等

参加定員：180名

会場：三菱ビル コンファレンススクエア エムプラス（グラウンド/10F）

東京都千代田区丸の内2—5—2 三菱ビル10F

参加費：無料

参加申し込み先：「プレベンチャー事業報告会事務局」

財団法人 日本科学技術振興財団 振興事業部内

TEL：03-3212-8447 FAX：03-3212-8449

E-mail preven@jsf.or.jp

報告会：<http://ppd.jsf.or.jp/preven/>（オンラインで申し込み出来ます）

プログラム

●10：00～12：10 【成果報告】

「オンチップセルソーターシステム」

安田賢二（東京医科歯科大学生体材料工学研究所）、小林雅之

「皮膚再生のためのレチノイン酸ナノ粒子」

五十嵐理慧（聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター）、山口菓子

「ゲノム関連資源常温流通システム」

林崎良英（理化学研究所横浜研究所）、吉田昭雄

「製品開発用仮想試験システム」

長松昭男（法政大学工学部機械工学科）、小泉敏明

●13：30～14：20 【特別講演】

「大学教授からアントレプレナーへ…立ちほだかるカルチャーギャップ」

山口勝美（メジュー株式会社）

●14：20～17：10 【成果報告】

「生体組織の常温長期保存液の創製」

玄 丞然（京都大学再生医科学研究所）、松村和明

「シュガーチップの実用化」

隅田泰生（鹿児島大学大学院理工学研究科）、西村知晃

「組織融合性に優れた骨修復材料」

小久保正（中部大学総合工学研究所）、渋谷武宏

「低視力用網膜投影電子眼鏡」

志水英二（宝塚造形芸術大学大学院造形研究科）、小林 勝

「次世代知能型設備診断システム」

山本隆義、陳山 鵬（三重大学生物資源学部）